

## 1. 新コース設置の経緯と目的

プログラミング、AI、セキュリティなどの高度な情報技術の躍進、DXによる需要増加などによって急激に情報人材のニーズが高まっている。しかし、日本ではこれらの人材は圧倒的に不足しており、これらの人材育成は急務である。そこで文部科学省は、高専に対して「高度情報専門人材の確保に向けた機能強化支援事業」を発表し、本校情報機械システム工学は、現学科内に新たに「高度情報工学コース」を設置するとともに、既存学科のカリキュラムを「総合工学コース」とすることとした。グローバルに活躍が期待できる科学技術に興味・関心の高い優秀な中学生を受け入れることとし、そのために従来の入試方法とは別に、「高度情報エンジニア育成特別選抜」を実施する。

## 2. 募集人員・入試方法

情報機械システム工学科 (定員 100 名のうち、推薦での合格者は 85% を超えないものとする)

・高度情報工学コース 定員 40 名

【推薦】高度情報エンジニア育成特別選抜 (最大 20 名)、特別推薦選抜、一般推薦選抜

【学力】学力選抜

・総合工学コース 定員 60 名 (30 名×2 クラス)

【推薦】特別推薦選抜、一般推薦選抜、 【学力】学力選抜

## 3. 高度情報エンジニア育成特別選抜について

以下の選抜を予定しております。詳細については、後日配布する募集要項をご覧ください。

- ・2年、3年1学期の調査書：9科目(5段階)の総計が72以上かつ全科目で3以上の者
- ・科学・技術や国際交流などに興味・関心を有し、志望する動機・理由が明確・適切である者
- ・本校への入学の意志が確実な者
- ・選抜検査日：10月26日(土)・27日(日)(検査日を受験生が選択)を予定

試験内容：面接：スライドを用いた説明及び質疑応答を含む

課題解決について、自らが考案したシステムの内容についてのスライドを出願時に提出する。試験では、その内容をスライドで説明し、質疑応答、目的意識、学習意欲、適性などの面接を行う

## 4. その他

(1) 特別選抜への応募予定者のための講座、発表機会 (応募のための必須条件でない)

(a) 課題解決型学習 (8月20日、22日、23日)

上記日程で開催予定の本校公開講座「マイコンプログラミングで課題解決【micro:bit】」が高度情報エンジニア育成特別選抜受験希望者のための課題解決型学習となります。

3日間は同一内容の講座になります。

(b) U16 プログラミングコンテスト三重大会 (9月14日(土))

(2) 合格後の入学前学習

(a) 本校教員の指導を受け、入学までの間、休日や冬休み、春休みなどを利用

(b) 特別選抜での作品にさらに改良し、高度情報人材教育へのスムーズな導入を図る

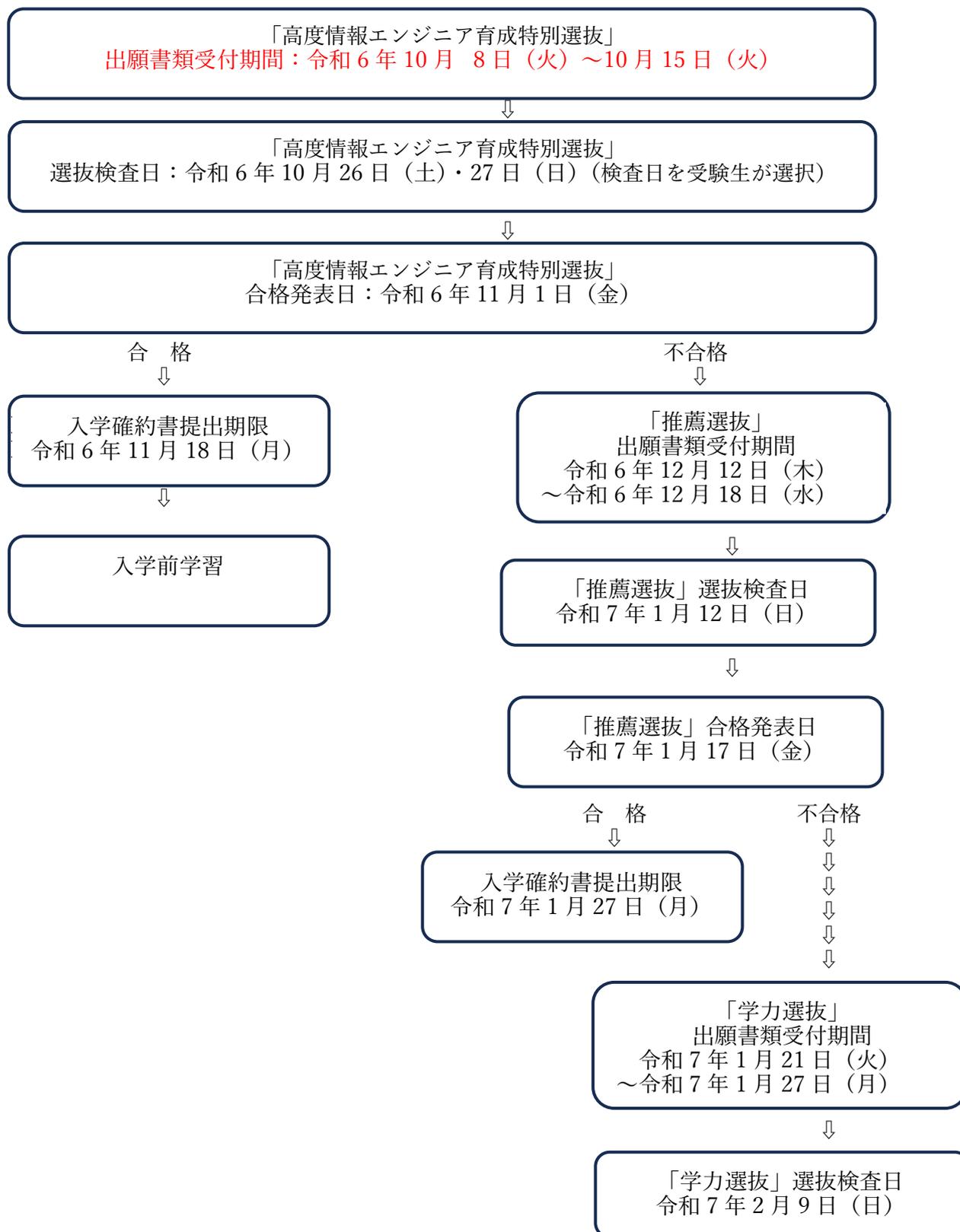
(3) 特別選抜での入学のメリット

(a) 入学前からの高度情報人材教育を基礎に継続して受けることができる

(b) 海外研修や本校の国際交流事業に優先的に参加 (渡航費などの一部支援)

※設置計画は予定であり、変更となる可能性があります。

情報機械システム工学科入学者選抜 フロー図



- ※ 特別推薦及び一般推薦選抜は、高度情報工学コースまたは総合工学コースから第2志望まで志願することができます。
- ※ 学力選抜は、高度情報工学コースまたは総合工学コースおよび商船学科から第3志望まで志願することができます。